



第5回 藤岡玉骨記念俳句大会
 平成25年3月4日(月)午前11時
 応募句362句、当日句112句
 当日参加者52名。



藤岡玉骨記念俳句大賞

山からの水に勢ひ露の臺

御所市 上村佳与様

○茨木和男 瀬山一英 特選句

五條市長賞

狐の足跡広げたる燠炭に

斑鳩町 林周作様

○中久保白露 特選句

五條市議会議長賞

お山焼庁舎屋上開放し

奈良市 鈴木露子様

○塩川雄三 特選句

五條市教育長賞

幕末の時計鳴る家春の昼

奈良市 遊田久美子様

○矢野典子 特選句

五條ロータリークラブ会長賞

山始め左利きなる鉦振るふ

吉野町 辻善流様

○上辻蒼人 特選句

五條市商工会長賞

涅槃会の畳の上の散華かな

河合町 福田千代子様

五條市観光協会会長賞

雛の間の開けて金剛山引き寄せる

奈良市 宮武孝幸様

奈良県俳句協会会長賞

やわらかな畳の日射し囀れる

宇陀市 中谷照様

奈良新聞社賞

初詣去年と同じ顔をして

三郷町 宮西洋子様

奈良テレビ放送賞

まだ少しこの世に未練日記買う

奈良市 西村猛様

毎日新聞社賞

一本で事足る煮物鰯大根

五條市 堀栄子様

朝日新聞社賞

夜明しの宮役終えて雑煮炊く

橿原市 鈴木玲子様

読売新聞社賞

ぬばたまの夜来つつあり山桜

天理市 岩城吉蔵様

産経新聞社賞

ものの芽を促す雨となりにけり

桜井市 福西泰子様

奈良日日新聞社賞

頑として自説を曲げず懐手

王寺町 坂元軒二様

藤岡家賞

駘蕩と江戸期の時計正午告ぐ

奈良市 渡辺政子様